

島根県立
大社高等学校

P T A 通信

令和元(2019)年度
第1号
大社高校
P T A 機関紙



男子水泳部 総合優勝 (初優勝)



サッカー部 優勝
(12年ぶり12回目)

県総体3連覇

男女総合優勝3年連続9回目



完全優勝 長い歴史の中で初の快挙



男子陸上競技部 総合優勝
(5年連続34回目)



女子陸上競技部 総合優勝
(10年連続28回目)



女子体操競技部 団体優勝
(2年ぶり47回目)



女子剣道部 団体優勝
(4年連続26回目)



男子剣道部 団体優勝
(16年連続37回目)

令和元年度 第57回島根県高等学校総合体育大会成績 (Aグループ)

男女総合優勝		男子総合優勝		女子総合優勝	
1位	大社 218点 (3年連続9回目)	1位	大社 109点 (3年連続4回目)	1位	大社 109点 (26年ぶり3回目)
2位	松江北 176点	2位	松江北 93点	2位	松江商 88点
3位	松江南 157点	3位	出雲 90点	3位	松江北 83点
4位	出雲 151点	4位	松江工 85点	4位	松江南 76点
5位	明誠 124点	5位	松江南 81点	5位	明誠 76点



ごあいさつ

PTA会長 矢田 和則



した。会員の皆さまには、平素から本校PTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度、PTA会長を務めさせていただきます。矢田和則と申します。

昨年度創立百二十周年を迎えた歴史と伝統のある大社高校のPTA会長を務めるということは大変な重責でございますが、役員の方々と力を合わせて各種PTA活動に取り組んでまいりますので、更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、冒頭の活躍のように、子どもたちは、日々部活動や学業に一生懸命取り組んでいます。子どもたちが生き生きと充実した学校生活を送ることが私たち保護者の共通の願いであり、これからもしっかりとサポートしたいと考えております。また、保護者の皆さまとのコミュニケーションを大切にしながら、楽しくPTA活動をしていきたいと思ひます。どうぞお気軽にPTAまでご意見をお寄せください。一年間よろしくお願ひ申し上げます。



PTA副会長 小野 篤彦



彦と申します。

一年間の短い期間での任期となりますが、お役に立てますよう精一杯取り組んでいく所存でございますので皆さま方のお力添えのほど何卒宜しくお願い致します。

私自身も大社高校の卒業生でありますが、私が通っていた校舎は現在大社中学校となつて鹿城が丘にあり創立からの歴史を感じさせるすばらしい建物でした、現在の地に移つてからも旧校舎から移築された「いなさ会館」を見るたびに懐かしさを感じております。

先の鳥根県高校総体においては男女総合三連覇達成という素晴らしい成績でした、男子総合優勝は三年連続九回目、女子総合優勝は二十六年ぶり三回目という事です、生徒たちの活躍を保護者としても卒業生としても嬉しく思ひます。

これからも生徒たちがより良い高校生活が送れるようPTA活動を進めていかなければならないと考えております、皆さま方のご指導、ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひ致します。

PTA副会長 持田 伸之



今年度、二年生の副会長を務めさせていただきますことになりました持田伸之と

申します。父・長男が大社高校の卒業生で、現在は次男がお世話になつています。幼稚園から中学校までのPTA活動には携わつてきましたが、高校の役員は私にとつても初めてのことであり戸惑つておりますが、長い歴史と伝統ある大社高校の副会長として、微力ながら精一杯務めて参りたいと思ひますので皆さま方のお力添えの程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

来年は、東京オリンピックが開催されますが、その頃受験も大きな変化がやってくると思います。生徒たちが不安を抱えないよう、勉強や部活動などへのびと安心して取り組めるよう、今のうちからしっかりと応援していきたいと思ひます。生徒たちにとつても、保護者にとつても充実した一年となるよう皆さま方のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

PTA副会長 須谷 真二



今年度の副会長を務めさせていただきますことになりました須谷真二と申します。今年、長男が入学させていただきますことになりました。長女も三年前大社高校を卒業させていただきましたが、子どもが毎日仲間と楽しく、思いっきり青春(昭和笑)していたことを今でも鮮明に覚えております。

大社高校でPTA役員をすることは初めてのことで、不慣れなことが多くありますが、校長先生はじめ諸先生方、並びに保護者の皆さまにご指導をいただき

き、この一年、PTA活動に楽しみながら取り組んでまいりたいと思ひます。また子どもたちが伝統ある学校で、仲間たちと過ごす高校生活が素晴らしい思い出の一ページ(死語?笑)となるよう陰ながら応援していきたいと思つております。

PTA監事 和田 慎一



この度、今年度の一年生PTA監事を仰せつかりました和田慎一と申します。

今年度から子どもが高校生となり、大社高校でお世話になることになりました。私自身も大社高校の卒業生であり、入学式などで懐かしい校舎に再会できたことをとても嬉しく思ひます。同時に、大社高校のPTA役員を務める重責と不安も感じているところです。不慣れなことが多く諸先輩方や先生方のご指導を受けながら精一杯努めてまいります。

さて、大社高校は昨年創立百二十周年という一つの節目を迎え、新たなスタートをきりました。先の鳥根県高校総体では、その伝統を受け継ぐ生徒たちが、三年連続の男女総合優勝というすばらしい活躍をみせてくれました。今後の生徒たちの益々の活躍を期待し、それを支える保護者の皆さまの一助になれますよう微力ながら尽力してまいります。ご指導ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

ごあいさつ

校長 古居 晃



この春の人事異動により矢上高等学校からまいりました古居晃と言います。保護者の皆さま方は日頃より本校の教育活動推進にご理解とご協力を賜りますこと、心からお礼申しあげます。私は、この大社高校に勤務するのは初めてです。常に外から大社高校を見てまいりましたが、勉強に部活動に共に熱心で活気のある学校だなあと思っていました。そういうことから実は、娘をこの大社高校に進学させていました。(今から十数年前ですが)部活動と勉強の両立に苦しみながら

も、部活動ではインターハイに出場できました。進路の方も当時の先生方のおかげで大学にも進み、現在は地元で看護師として働いています。本当に大社高校に進学させて良かったと思っています。そうした恩返しの意味も含めて、一生懸命この大社高校で勤め、生徒たちの夢や進路実現のできる学校づくりに励みたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

さて、先般の新聞記事に興味深い記事が載っていました。それは、今年の新入社員約半数が転職志向を持っているという内容です。「今の会社で何年働くとするか」という問いに対し、「定年まで」としたのは、約2割、

「十年くらい」と回答した人が約五割だったとのこと。今の会社で長く働きたいと思わない理由は、「ライフステージに合わせて働き方を変えたい」「転職でキャリアアップしたい」という理由が最も多かったとのこと。調査した会社は、二十代の多くが転職を前向きに捉えているとした上で「終身雇用

の前提が揺らぐ中、一つの就職先に頼らず自己成長しようとする人も増えている」と指摘していました。手不足らしく、転職も容易なことかもしれません。また、今後はAIと職のすみ分けも必要な時代になります。一つの道を追い続けるのも良し、さまざまな道をライフステージごとに選択するのも良し。これからの若い世代は、さまざまな職種に対応できる柔軟で幅広い能力が必要なかもしれません。お子さまの進路実現には、より一層ご家庭と学校が連携を密にしなければと思いました。

令和元年度PTA役員一覧	
役職	役員氏名
会長	矢田 和則
副会長	小野 篤彦(三年・広報担当)
副会長	持田 伸之(二年・生活指導担当)
副会長	須谷 真一(一年・研修担当)
副会長	古居 晃(校長)
監事	福田 義則
監事	宮本 憲吉
監事	和田 慎一

令和元年度 新任教職員紹介

教科名等	氏名
校長	古居 晃 (ふるい あきら)
保健体育	長 廻 崇 (ながさこ たかし)
英語	岩 崎 有 司 (いわさき ゆうじ)
地歴・公民	早 川 信 悟 (はやかわ しんご)
地歴・公民	山 口 成 美 (やまぐち なるみ)
数 学	兼 折 泰 章 (かねおり やすあき)
数 学	野 原 秀 樹 (のばら ひでき)
数 学	藤 原 浩 志 (ふじはら ひろし)
理 科	加 藤 孝 祐 (かとう こうすけ)
理 科	黒 崎 滉 太 (くろさき こうた)
保健体育	後 長 直 樹 (ごちよう なおき)
芸 術	高 橋 由 美 子 (たかはし ゆみこ)
英 語	別 所 真 由 子 (べっしょ まゆこ)
家 庭	三 島 則 美 (みしま のりみ)

特集 大社高校の進路指導について

I. 進路指導とは

生徒の「自己発見」と「自己実現」を支援し、その過程で生徒が、自ら考え判断し、協力して課題を解決する力を身につけ、地域社会に貢献できる人材へと成長を遂げることを目的とする。

1. 「進路指導は人間形成の場であり、全人格的な教育の場である」という共通認識

※「合格」＝「ゴール」ではない。次のステップにおけるスタートラインであるという認識を持つこと。

2. 進路目標実現のための視点

- (1)「授業を通して学力をつける」そのための課題であり、家庭学習である。
 - ・学力なくして進路目標の達成はない。教科の学習に全力を尽くす。
- (2)進路目標確立のための「自己発見」・「自己理解」
 - ・本気で学習しなければ自分の本当の興味、関心、適性は分からない。
 - ・内外で行われる全ての教育活動への積極的参加が、自分自身の視野・世界を広げる。
- (3)「目標を達成する過程で学ぶもの」が最も大切なものである。
 - ・基礎・基本の大切さを学ぶ。
 - ・目標と自分の現実の姿をすり合わせ、自分を客観視することを学ぶ。
 - ・壁にぶつかっても、何とかして前に進む方法を学ぶ。
 - ・「何故学ぶのか」を学ぶ → 自らのキャリア・パスを考えることの意義を学ぶ。
 - ・「何故働くのか」を学ぶ → 職業観・社会貢献意識を持つことの大切さを学ぶ。
 - ・「学び方・学ぶ術」を学ぶ → 生涯にわたって学び続ける人であることの必要性を学ぶ。

3. 3年間を見通した進路指導

- (1)1年：基本的な生活習慣、学習習慣の確立と基礎学力の定着。文理選択。高い志と夢を持つこと。
- (2)2年：学部・学科研究・コース選択と進路の方向性を確定。自己の適性や学力の分析・弱点補強。
- (3)3年：具体的な進路目標設定とそれを実現するための各フェイズ毎の数値目標の設定。
学力強化の具体的方策とその実践。最高学年の自覚と社会常識の獲得。

II. 進路指導の仕組み

1. 進路指導の大きな流れ

- (1)「予習→授業→復習」の王道サイクルの確立とその推進。
- (2)「面談→進路検討会」の過程を繰り返し、生徒の志望を徐々に強固なものにしてゆく指導。
- (3)「文武両道」を基底に据えた指導。

2. 保護者との連携

- (1)各学年PTA (2)学級懇談会 (3)保護者面談

3. 進路指導部の役割

- (1)進路検討会を指導の中心に据え、指導経験や情報の共有をしながら進路指導を進める。
- (2)各学年・各教科の学力分析と学力向上のための情報提示と問題提起、具体的な対策の提言。
- (3)進路資料（進学・就職）の収集・整理・提示。
- (4)模試・補習・小論・面接等の個別指導の計画的実施。
- (5)学力向上・授業改善・指導力向上のための取り組み。（内外の教員研修への参加奨励）

III. 進路指導を推進するために

生徒に持たせたい意識

- (1)「人としてどう自立するか」を考えること
 - どのように専門的な知識・技能・資格を獲得し、それをどう活かすか
 - どのように経済的に自立し、自らの社会的基盤を確立するか
- (2)「人としてどう生きるか」を考えること
 - 自らの職務に対する誇りと責任を持てること
 - 地域・社会に貢献できる人になること。「より良い〇〇を目指すこと」

高校という場は「自立した存在」への第一歩

- (1)「高い志」を持ち、それを「実現する力（学力）」をつける場
- (2)「目指す自分」になるために「人としての基礎力」を身につける場



特集

登下校時における交通安全対策・マナーについて

生徒指導部長 柳 楽 達 也

近年、高齢ドライバーによる交通事故や、何の落ち度もない人が、暴走してきた車にはねられるといった痛ましい事故が後を絶ちません。

登下校時における交通事故については、保護者の皆さまも大変心配しておられることだと思います。実際に本校でも、毎年多くの交通事故が起こっています。(表1参照) 今年度も既に二件の自動車との接触事故と一件の自転車同士の衝突事故が起こっています。時には「大社高校の生徒が自転車で手放し運転をしていて危ない」とか、「自転車で飛び出してきて、よっぽど轢きそうになった」などの地域住民の方からの意見も寄せられています。また、危ないと分かっているにもかかわらず、スマホを見ながら、あるいはイ

ヤホンをしながら自転車に乗っている生徒の姿も目にします。

一般的に交通事故の多くは交差点で起こっています。しかも、信号機がなく見通しのきかない交差点です。もちろん車の運転者も、自転車に乗っている生徒も事故を起こそうと思っているわけではありません。

ただ、「この交差点は危ない(かも知れない)」、あるいは「車が来ていけるかも知れない(歩行者や自転車も飛び出してくるかも知れない)」と思う気持ちが少ないのだと思います。とかく自転車は信号機のない裏道を通行しようとはしますが、実はそれが大変危険であることに気付いていません。登下校では、出来るだけ信号機があつて歩道のある大きな道を通ることや、自分の子どもが乗っている自転車の安全(ライト、ブレーキ等)点検や、カッパを携行しているかなど、家庭での協力や支援が不可欠となります。

自動車による送迎については、毎年、新入生に「入学の手引き」でお知らせしている通りです。特に雨天時には、保護者による送迎の車の影響で、大社高校前の道路が渋滞する



ことがしばしばあります。地域住民から苦情が来ることもあります。雨降りに限らず、自動車による送迎では時間に余裕を持ってお願いいたします。それと、

敷地内で生徒を降ろす場所は玄関前となっており、子ども都合の良い場所での停車や、自転車を荷台から降ろすとき等も、後続車の迷惑にならないようにご配慮いただきますようお願いいたします。

交通安全とは直接関係ありませんが、子どもの忘れ物を、校舎内にいる生徒下駄箱に入れられるケースがあります。不審者対策のこともありますので、忘れ物は下駄箱ではなく事務室に届けていただきますようお願いいたします。

大社高校は、生徒が安全に安心して過ごせる学校にするために、教職員一同努力してまいりますので、保護者の皆さまにも、ご理解とご協力をお願いいたします。



表1. 大社高校生徒の登下校時における交通事故件数

	H26	H27	H28	H29	H30
対自動車	9	7	13	9	21
対自転車	1	1	0	0	0

PTA行事および学校行事予定

(PTA行事)

- 〈1学期〉
 - 4月8日 始業式
 - 4月9日 入学式
 - 5月8日 第一回PTA評議員会
 - 5月11日 PTA総会、学年PTA①
 - 6月8日 学級懇談会(一・三年)
 - 7月19日 県高P連総会
 - 8月22・23日 第69回全国高P連大会(京都市)
 - 8月21日 始業式
 - 9月1・3日 学園祭
 - 9月中旬 学年PTA(三年②)
 - 11月1日 PTA教育研修会
 - 12月中旬 学年PTA(一年・二年②)
 - 12月20日 学年PTA(三年③)
 - 1月8日 始業式
 - 2月13日 第二回PTA評議員会
 - 3月3日 卒業式、PTA通信②発行
 - 3月24日 終業式
- 〈2学期〉
 - 8月21日 始業式
 - 9月1・3日 学園祭
 - 9月中旬 学年PTA(三年②)
 - 11月1日 PTA教育研修会
 - 12月中旬 学年PTA(一年・二年②)
 - 12月20日 学年PTA(三年③)
 - 1月8日 始業式
 - 2月13日 第二回PTA評議員会
 - 3月3日 卒業式、PTA通信②発行
 - 3月24日 終業式

むらさきの会行事予定

日程	事業内容
8月	梶原聖立大学オープンキャンパス見学
8月25日(日)	「鹿城祭」バザー値付け
9月1日(月)	「鹿城祭」バザー(日用品・食品販売)
10月～11月	第2回研修会
11月	第3回研修会(PTA研修会参加)
2月12日(水)	第3回地区代表者会
3月3日(月)	会報発行

学級担任紹介

一年部 主任 野原 秀樹

主任(数学) 野原 秀樹
 入学して三ヶ月が経ちました。親子も教師も、新しい高校生活に慣れてきた所です。緊張感からの解放という観点からは、「慣れ」はありがたいものです。一方で慢心と油断が私たちに入り込み、思わぬ陥穽が待ち受けていることがあります。ですから、新しいものを体得し、磨きを掛ける姿勢を持ち続けたいと思っています。



一組(理科) 三島 健士朗
 とてもにぎやかなクラスです。課題もたくさんありますが、良いところがたくさんあるクラスです。生徒と一緒に、お互いの凹凸を補い合いながら「一組の良さ」を活かせるようなクラスにしたいと思っています。変化する時代をたくましく生き抜けるよう、全力でサポートします！

一組(数学) 兼折 泰章
 「高校生の可能性は無限大」です。生徒は驚くほど成長します。限界を決めつけてはいけません。いつも思います。「話をよく聞くこと」「『ありがとう』『すみません』が素直に言えること」「時間を守ること」を大切に、生徒を応援していきます。

三組(国語) 古川 由紀
 新たな人間関係を築くべく戸惑いながら遠慮がちに過ごしていた生徒たちも、六月に入ってようやく調子が出始めました。楽しいことも苦しいことも一緒に泣き笑い、相互に支え合える集団になってほしいと思っています。

四組(保健体育) 上田 健一
 一年四組には「調身調息調心」と、黒板の上に掲げてあります。身体を整えれば、息が整い、息が整えば、心が整うということです。人は見た目が九割、というような本もありましたが、まずは姿勢よく前向きに活動できるように手助けできればと思っています。

五組(地歴公民) 廣幡 聡子
 この高校での生活が、その先の人生において、立ち返るべき原点の一つになることを願っています。そのため、苦しいことや辛いことにも挑戦する、厳しさを持った集団に成長してほしいと思っています。

六組(数学) 藤原 隆志
 大社高校六年目にして初めて体育科の担任となりました。今年一年は挑戦の年と決め、生徒ともにさまざまなことに積極的に挑戦していきたいと考えています。常に「もっと良いものを」と貪欲に挑む。そんな一年にしたいと思っています。

二年部 主任 小村 智子

一組(英語) 岩田 昌子
 “Think Outside the Box”、失敗を恐れず、貪欲に学び続けてほしい。そんな思いを込めた二年一組のテーマです。箱の外側に目を向けると、選択肢にない最善の答えが見つかるかもしれない。ちょっと背伸びしたら届くかも、という場所に自分の可能性を一回りも二回りも広げてくれるチャンスの種があるかもしれません。クリエイティブに、ポジティブに、この一年一緒にがんばりましょう。

二組(地歴公民) 多久和 優佑
 生徒と面談をしていると「文武両道」を今年の目標として掲げている人が多くいます。もちろん学校生活では「勉強」・「部活」が大きな部分を占めています。学校生活には他



にもたくさんの方の充実させるヒントがあるはず。この一年間で楽しいことも辛いことも含めて皆さんのことを経験し、たくましく成長できるように、私も精一杯、サポートしていきます。と思っています。

三組(芸術) 須田 司
 昨年度の三年生で国立大学の後期試験まで諦めずに努力する姿を見せてくれた生徒がいました。今年のテーマは「気概」(困難にくじけない強い意気、気骨、意気地)。お互いに「気概」を持って何事にも取り組んでいきましょう。この一年の頑

張りが来年度につながります。「未
来は今の積み重ね」。一年間よろし
くお願いします。

四組(数学) 福原 修

昨年一年生担任から皆さんと一緒に
進級し二年生担任になりました。
二年生になると、部活動では中心的
な存在となり、学習ではより深く勉
強することになります。進路目標も
きちんと調べていく必要な学年でも
あります。しっかりと応援していこ
うと思いますので今年一年が有意義
な高校生活となることを期待してい
ます。

五組(国語) 小村 智子

授業、学校行事、社会との関わり
：体験するすべてのことが生徒の皆
さん一人一人の、そして学級の力を
高めます。時に悩みながらも、支え
合い高め合って、自分の限界を決め
ずに挑戦できる、その応援ができれ
ばと思っています。ひきつづきよろ
しくお願いいたします。

六組(数学) 岡田 真

四十四人という人数でのクラスが
スタートしました。皆の思いは様々
ですが、クラス全員が充実した学校
生活を送り、社高生として成長でき
るように全力でサポートします。一
年間よろしくお願いします。

七組(保健体育) 山上 隆

勝負できる舞台、学びあえる仲間
競い合うライバルがいつでも存在し
ているのが体育科のすばらしいこと

ろだと思えます。思い悩み、立ち止
まることの多い二年生の時期ですが、
そんな中でもやりがいや目標を一緒
に見つけていきたいと考えています。
一年間よろしくお願いします。

二年部 主任 神門 宏和

一組(英語) 尾原 美香

Step by step.毎日続けてやること
は、そう簡単なことではありません。
しんどいときは、周りを見てみよう。
お互いが頑張っている姿は、とても
励みになり、力になります。私も毎日、
皆さんから明るく元気な挨拶と優し
い心配りをいただいて、たくさんの
力に変えています。三年生全員が、
全力で頑張っている人を全力で応援
しあう、そんな思いやりのある集団
として、最後まで粘り強く、みんな
で切磋琢磨して進んでいきましょう。

二組(国語) 今岡 雅卓

辞書を引くと、「歩む」とは、「人
や物事などが、ある(決定的な)方
向に向かって進展する。進む。」と
あります。勝利や合格といった「結
果」にとらわれず、「歩み」続ける
一年にしましょう。さすれば、自ず
と「結果」はついてきます。

三組(地歴公民) 小村 尚久

今年、きつと眼前を色々なこと
が猛スピードで流れていきます。そ
の一つひとつに対してどれだけ心を
持って丁寧に向き合えるか。自分の
ことだけで手一杯になりそうな時、
どれだけ他者を気遣い、励まし、応

援し合えるか。結果が出ず折れそう
になった時、どれだけしぶとく、し
なやかにやり抜くか。進路選択と受
験にはたぶんそんな学びも詰まっ
ています。

四組(英語) 神門 宏和

いよいよ高校生活最後の大切な
一年となります。一人一人が自分の
目標に向かって切磋琢磨しながら、
学年全体として成長していく集団を
皆で築いていきましょう。そのため
に最後まで積極的に学ぶ姿勢を貫い
てほしいと思います。



五組(数学) 藤井 政之

「みんなが、(状況を見て)行動す
るしかない」日々の生活のことでも
学習のことでも、生徒に伝えている
ことの一つです。準備・教授・支援
とできる限りのことはやりますが、
何事も生徒が主体的に行動してこそ
達成されることばかりです。すべき
ことを生徒が継続できるように、見
守り声かけをしていきます。

六組(理科) 吉岡 裕司

高校生活最後の一年が始まりまし
た。この一年は楽しいことだけでは
なく、きつとつらいことも待ち構え
ていると思います。だからこそ、互
いを支え合い、力を引き出合える
集団であってほしいと願っています。
前向きに取り組み、積み重ねること
が、道を切り拓く力だと信じていま
す。

七組(保健体育) 小村 健

生徒、担任合わせて三十七名の変
わらないメンバーで今年度もスタ
トしました。この二年間、生徒たち
の成長に喜びを感じながら、充実し
た毎日をごせました。いよいよ三
年目、高校生活最後の一年間です。
私は生徒たちの進路実現のために、
精一杯サポートをしていきます。そ
の分、生徒たちにも「自分の一生を
決める大切な一年間。一生で一番頑
張る一年間にしよう」と言っていま
す。胸を張って三月の卒業式を迎え
られるように一緒に頑張ります。

部活動だより

このコーナーでは、各部の紹介をしております。

陸上部

こんにちは。陸上部です。
陸上部は、柳楽先生、上田先生のご指導の下「県総体男女総合優勝」、一人でも多くの「インターハイ出場」を目標に日々の練習に励んでいます。

大社高校は部員数が多いので、校内でのメンバー争いが激しい種目もあります。人数制限のある大会では出場できない人もいます。ですから、お互いに仲間でありながらライバルとして毎日の練習から切磋琢磨しながら頑張っています。また、全国で戦えるようなレベルの高い選手もいるので、刺激をもらいながら練習できる良い環境だと思っています。

体操部

こんにちは。私たち体操部は、山上先生・立原先生のご指導の下、三年生六人、二年生六人、一年生二人で活動しています。

体操部は「インターハイ決勝進出」を目標に日々練習に励んでいます。大社高校体操部には個人競技とは思えないほどのチーム力があり、共に練習していく中で培われたこの力はどの県にも負けません。練習では思うようにいかない時もありますが、そんな時こそ部員同士で声を掛け合い、最高の演技を作るためにチーム一丸となって練習

に取り組んでいます。

保護者や先生方、卒業生の先輩や地域の方々など、私たちが練習して演技を創り上げ、大会で発表して成功させるために、本当に多くの方々に関わっていただいています。そのような方々のおかげで私たちは目標を持って練習に打ちこむことができています。いつも感謝の気持ちを忘れず、見る人に感動してもらえる演技を目指して頑張ります。これからも体操部をよろしくお願いします。

男子ソフトテニス部

ソフトテニス部は、一年生一人、二年生五人、マネージャー二人の計八人と、い少ない人数で日々楽しみながらも一生懸命ボールに食らいついて練習しています。今のソフトテニスはオーラウンダーであることが求められるため、僕たちもそれを目指して、練習を工夫し努力しています。

ただ現在、選手が六人しかおらず少ないので、今でも部員は募集しています。そんなにも張り詰めた雰囲気ではないので、ぜひ入部をお願いします。今後も練習に励み、最終的な目標を中国大会出場とし、関わる誰にも感謝しつつ、全力かつ楽しくプレーするので応援よろしくお願いします。

卓球部

こんにちは。私たち卓球部は、二年生一人、一年生四人の計五人、顧問の加藤先生と副顧問の福原先生とで日々練習に励んでいます。

卓球部は、県総体、公式戦での「団体ベスト8」を目標に、オープン大会などにも積極的に出場して、力をつけています。日々の練習では、大会でベストを尽くせるように、一人一人が高

い意識を持って練習しています。そして、人数が少ない分、団結力が強く、一人一人の責任が重いので緊張感のある練習ができています。

私たちが毎日練習でき、大会に出られているのは、様々な形で支えてくださる周囲の方々のおかげです。その方々への感謝の気持ちを日々の生活で示していけるように精進していきます。応援よろしくお願いします。

女子硬式テニス部

こんにちは。私たち女子硬式テニス部は二年生八人、一年生四人の計十二人と顧問の多久和先生、岩田先生で毎日活動しています。練習場所は主に浜山テニスコートを使用させてもらっています。また、週に二回、外部コーチの方の指導を受けさせていただいています。このような恵まれた環境で楽しく、また、見ている人を楽しませられるようなプレーが出来るよう日々練習に励んでいます。

私たちの目標は、「県ベスト4」です。部員はほとんど全員がテニスを高校から始めた初心者ばかりなので、基礎部分と経験部分を高めることが出来るように一人一人が自分の短所と長所を意識しながら練習しています。また、社会生活でも必要とされる自主性を高めるようにしています。

日頃お世話になっている方、応援してくださる方、チームメイトへの感謝を忘れずに練習に励みます。

JRC部

私たちJRC部は、一年生五名、二年生十名、三年生九名の計二十四人で毎週火曜日に活動をしています。顧問の石飛先生や兼折先生と共に「active」を目標として、積極

的に自分たちが生活している地域に貢献する活動をするよう努めています。昨年度は、春季と秋季に行われる青少年赤十字協議会に参加し、地元いなさの浜清掃活動の研究発表で優秀賞を受賞することができました。長期休業中には、出雲科学館のボランティア、出雲地区JRC部の仲間と被災地にむけて募金活動も実施しました。今年度は、昨年よりも一層地元で恩返しする気持ちで地域清掃に力を入れて活動していきます。四月には地域の人と一緒に日御碕海岸の清掃作業に参加し漂着物の多さを実感しました。昨年から取り組んでいる「いなさの浜清掃活動」を部員だけでなく全校生徒にも呼びかけて活動を広げていきたいと考えています。私たちの活動が地域の活性化にもつながれば嬉しいと思います。

茶道部

私たち茶道部は、二年生二人、一年生五人の計七人と裏千家外部講師の今岡先生、顧問の坂上先生と毎週金曜日、有朋館和室で活動しています。

今岡先生にはお茶のいただき方から礼儀作法まで丁寧に教えてもらっています。毎回和菓子やお花などから四季の移り変わりを感じながらより良いお点前が出来るようにお稽古に励んでいます。私たちは茶道を通して日本の伝統文化を学ぶことはもちろんのこと、相手に対して思いやりの心や感謝の気持ちを大切にすることも学んでいます。

今年も文化フェスティバルでは呈茶コーナーを担当します。また、鹿城祭では恒例のお茶席を行います。このお茶席は私たちの日頃の練習の成果を披露する場でもあります。心をこめておもてなしをするので、是非たくさんの方に来てもらいたいです。



サッカー部 島根県高等学校総合体育大会優勝 12年ぶり12回目

サッカー部にとって忘れられない戦いがあります。それは、昨年度島根県高等学校総合体育大会です。

宿敵立正大浜南高等学校相手に後半アディショナルタイムまで一点リードしていましたが、残り三〇秒で同点弾を浴び、延長戦に突入後に逆転を許し敗退しました。目の前に全国大会の扉が見えた矢先の逆転劇でした。共に戦った先輩方の止まない涙を見て、絶対に来年こそ勝利すると心に誓った大会でした。悔しさを持ち続けて練習した日々を乗り越え、一年越しのリベンジを果たす機会がやってきました。新人戦では優勝し、第一シードとして迎えた今大会では、登録選手三十名中のほとんどが試合に出場し、総合力を見せつけ決勝進出をしました。独

特の緊張感が流れる決勝でも三年生を中心に力を遺憾なく発揮し、一点リードで後半に突入しました。後半は攻め込まれたものの主将を中心に統率の取れた守備で粘り強く対応し、魔の時間帯も乗り切り、見事十二年ぶりの十二回目の優勝を果たすことが出来ました。

応援スタンドに走り込むと悔しい思いをして卒業したOBの皆さんが満面の笑みで喜んでくださっていた姿を見て、本当に厳しい練習をしてきてよかったと心から思いました。我々の目指すところは、県優勝ではなく全国優勝です。余韻に浸っている暇はありません。今後も目標を達成するために努力を続けていきます。今後も応援よろしくお願ひします。

令和元年度 島根県高等学校総合体育大会 戦績

一回戦	対 平田	2-0
二回戦	対 出雲西	10-0
準々決勝	対 松江農林	3-0
準決勝	対 明誠	3-1
決勝	対 立正大浜南	1-0



水泳部 島根県高等学校総合体育大会優勝



僕たち水泳部、特に三年生にとって今年の県総体は、入部以来ずっと目標にしていた「男子総合優勝」を成し遂げる最後のチャンスでした。昨年は優勝校と同点ながらリレー得点の差で惜しくも総合二位に止まり、とても悔しい思いをしました。そのこともあり、今年こそ絶対優勝するという皆の気持ちが一番でもまっすぐ目

標に向かい続けた結果、大社高校水泳部創設以来初の男子総合優勝を達成すると同時に、部員全員が中国総体の出場権を獲得することもできました。念願の優勝が決まった瞬間、嬉しい気持ちと共に今まで一生懸命やってきてよかったという思いがこみ上げてきました。レース中に応援してくれた後輩、勝利を一緒に喜んでくれた友達、送迎や大会運営等でお世話になった保護者の方々や顧問の先生。たくさんの方に支えていただいたお陰でこの栄冠を勝ち取ることができました。ありがとうございました。中国総体では一人でも多くインターハイに出場できるように精一杯頑張ります。応援宜しくお願いします。

(主将 長岡紘平)

部活動 大会報告



令和元年度島根県高校総体

学校対抗

男女総合成績	
男子総合成績	第1位：218点
女子総合成績	第1位：109点
男子総合成績	第1位：109点
女子総合成績	第1位：109点
男子総合成績	第1位：109点
女子総合成績	第1位：109点

陸上競技部

種目	順位	選手
5年連続34回目		
400m	1	松直
800m	1	松直
1000m	1	松直
1500m	1	松直
2000m	1	松直
3000m	1	松直
4000m	1	松直
5000m	1	松直
6000m	1	松直
8000m	1	松直
10000m	1	松直
15000m	1	松直
20000m	1	松直
25000m	1	松直
30000m	1	松直
40000m	1	松直
50000m	1	松直
60000m	1	松直
80000m	1	松直
100000m	1	松直
150000m	1	松直
200000m	1	松直
250000m	1	松直
300000m	1	松直
400000m	1	松直
500000m	1	松直
600000m	1	松直
800000m	1	松直
1000000m	1	松直
1500000m	1	松直
2000000m	1	松直
2500000m	1	松直
3000000m	1	松直
4000000m	1	松直
5000000m	1	松直
6000000m	1	松直
8000000m	1	松直
10000000m	1	松直
15000000m	1	松直
20000000m	1	松直
25000000m	1	松直
30000000m	1	松直
40000000m	1	松直
50000000m	1	松直
60000000m	1	松直
80000000m	1	松直
100000000m	1	松直
150000000m	1	松直
200000000m	1	松直
250000000m	1	松直
300000000m	1	松直
400000000m	1	松直
500000000m	1	松直
600000000m	1	松直
800000000m	1	松直
1000000000m	1	松直

サッカー部

1回戦	対	出雲	2
2回戦	対	松江	0
準決勝	対	福安	0
決勝	対	松山	0

剣道部

個人	男子優勝	女子優勝
個人	男子優勝	女子優勝
個人	男子優勝	女子優勝
個人	男子優勝	女子優勝

弓道部

「女子個人」	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
「女子団体」	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
「男子個人」	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
「男子団体」	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島

女子ソフトテニス部

1回戦	対	大社	1
2回戦	対	大社	2
準決勝	対	大社	0
決勝	対	大社	0

男子ソフトテニス部

個人戦	吉田組	216
個人戦	高橋組	3216
個人戦	松江組	3216
個人戦	松江組	3216

体操部

「男子」	優勝	藤原、松浦、千野
「男子」	2位	藤原、松浦、千野
「男子」	3位	藤原、松浦、千野
「男子」	4位	藤原、松浦、千野

卓球部

「男子」	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
「男子」	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
「男子」	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
「男子」	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

水泳部

個人	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
個人	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
個人	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
個人	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

バレーボール部

男子バレーボール部	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バレーボール部	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バレーボール部	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バレーボール部	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

バスケ部

男子バスケットボール部	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バスケットボール部	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バスケットボール部	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
男子バスケットボール部	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

ソフトボール部

ソフトボール部	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
ソフトボール部	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
ソフトボール部	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
ソフトボール部	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

空手道

空手道	優勝	伊藤、赤田、奥村、中島
空手道	2位	伊藤、赤田、奥村、中島
空手道	3位	伊藤、赤田、奥村、中島
空手道	4位	伊藤、赤田、奥村、中島

「部活動」では「ありませんが、本校の選手として出場しました。美来 ベスト8

女子個人形 成相

中国大会予選

剣道部

団体 男子優勝 女子優勝
個人 男子優勝 女子優勝
勝部 山根 望月
2位 宮前 和真
3位 山本紗久良 琴羽

弓道部

【男子個人】
原 量紀 1212射10中 ※中国大会出場権獲得
浦部 旭 1212射9中 ※中国大会出場権獲得
【女子個人】
伊藤 朱里 12射8中
※中国大会出場権獲得
【男子団体】
原・浦部・石飛・加藤・金築・向井
【女子団体】
伊藤・赤田・細木・加藤・後藤・矢田
予選敗退

卓球部

【男子個人】
ダブルス(男子)
2回戦敗退 小谷・保科
シングルス(男子)
4回戦敗退 小谷
1回戦敗退 多久和

女子ソフトテニス部

団体戦 1回戦 大社②―1隠岐
2回戦 大社0―3安来
個人戦 青木・岡本組 ベスト32

体操部

【男子】
福 拓也、優勝
寺田 祥己、古田 魁聖、重谷 佳輝、
個人戦 優勝
中国大会出場権獲得。

種目別入賞者

ゆか 優勝 古田 魁聖
あん馬 優勝 福 拓也
つり輪 優勝 福 拓也
跳馬 優勝 福 拓也
鉄棒 2位 福 拓也
3位 寺田 祥己
★団体メンバ―を除く個人戦の結果、川上鳳大が個人での中国大会出場権を獲得。
○団体戦 優勝
片寄 佑海、江口 茉那、佐々木千恵、
申崎 日生)
★中国大会出場権獲得。

卓球部

個人戦
種目別入賞者
跳馬 2位 片寄 佑海
5位 串崎 日生
4位 佐々木千恵
3位 吉川優妃乃
2位 和泉 流響

男子バレーボール部

予選グループ戦
大社2―0益田翔陽
大社2―0大東
2ブロックリーグ戦
大社2―1石見智翠館
大社2―0松江農
順位決定リーグ戦
大社2―0松江北
大社0―2安来
2位 中国大会出場

女子バレーボール部

予選グループ戦
大社2―0浜田
大社0―2情報科学
★団体メンバ―を除く個人戦の結果、吉川優妃乃、和泉 流響、福岡 滯、横木 光悠、小林 凜の5名が個人での中国大会出場権を獲得した。

男子バレーボール部

予選グループ戦
大社2―0松江農
大社2―0松江北
大社0―2安来
2位 中国大会出場

女子バレーボール部

予選グループ戦
大社2―0松江農
大社2―0松江北
大社0―2安来
2位 中国大会出場

男子バスケットボール部

2回戦 大社53―82浜田商業

女子バスケットボール部

1回戦 大社54―149松江農林
2回戦 大社57―91松徳学院

その他の大会

ソフトボール部

1回戦 大社2―15江津

女子バレーボール部

●30回全日本ビーチバレー女子選手権大会島根県予選
優勝 青山 未優・重田 夏希(ペア)
(8月15~18日大阪府で行われる全国大会に出場)
2位 井山 志穂・佐藤 夏萌(ペア)

体操部

●国民体育大会島根県予選
【女子】
個人戦 2位 ★串崎 日生
4位 ★江口 茉那
5位 ★吉川優妃乃
★7/13、14島根県浜田市で行われる国民体育大会中国ブロック予選に島根県少年女子の選手として出場権を得た。

野球部

●春季高校野球中部地区予選
2回戦 大社12―4出雲西
3回戦 大社12―1益田東
準々決勝 大社8―0松江北(7回コールド)
準決勝 大社3―2矢上
決勝 大社5―4三万屋

ダンス部

●山陰高等学校野球大会
準決勝 大社3―2鳥取城北
決勝 大社3―6米子東

放送部

●第55回島根県高校放送コンテスト出雲・石見地区大会
アナウンス部門 出場 原 詩織
●第55回島根県高校放送コンテスト兼第66回NHK杯全国高校放送コンテスト島根県大会
アナウンス部門 第七位 原 詩織
テレビドキュメント部門 第五位
「仁虎羅寿@大社High School」

写真部

●春季写真コンクール
特選 高橋 涼 「まだかなあ…」
選 秦 和美 「足元に、春」

書道友好会

●高文連書道コンクール
秀作 2年3組 中尾 雪子
2年4組 尾添 あい子

中国大会

陸上競技部
走高跳 2位 志食真陽瑠
三段跳 3位 陶山 勇人
100mH 1位 志食真陽瑠
棒高跳 1位 長崎さゆり
3位 タイ 幸田 未夢

剣道部

男子団体
準々決勝 大社2―1玉島(岡山)
準決勝 大社2―0倉敷(岡山)
決勝(2回目) 大社2―1岡山商大附(岡山)
男子個人
準々決勝 大社 本2―2玉島(広島)
準決勝 大社1―0岡山商大附(岡山)
決勝 大社0―4西大寺(岡山)

弓道部

【男子個人】
原 量紀 8射5中
浦部 旭 8射4中
【女子個人】
伊藤 朱里 8射3中

体操部

団体
【男子】
5位
【女子】
5位

女子バレーボール部

2回戦 大社2―0山口鴻城
3回戦 大社0―2広島桜が丘
ベスト8

野球部

1回戦 大社3―4如水館

学園 スナップ

生徒総会



2年生オンライン英作文添削講演会



入学式



壮行式



1年遠足 (大社)



2年遠足 (アケアス)



3年遠足 (蒜山)



総体ソフトボール



R1県総体総合優勝 (陸上)



総体女子バスケ



球技大会 (バレー)



球技大会 (卓球)



総体男子弓道



総体女子硬式テニス



芸術鑑賞 (ゴッベル)



芸術鑑賞 (津軽三味線)

